

持続可能な森林管理のための汎ヨーロッパ基準と指標（抜粋）

基準	定量的指標
<p>1. 森林資源及びその地球的炭素循環（カーボンサイクル）に対する寄与の維持及び適切な増進</p>	<p>1.1 森林及びその他の林地の面積及びその変化（適当なら、森林や植物の種類、所有構造、樹齢構造、森林の由来などによる分類別に）</p> <p>1.2 a) 成長蓄積の総量 b) 森林地の成長蓄積量の平均値（適切ならば、異なる植物区域ごと、又は、区域〔サイト〕区分ごとに分類の上） c) 樹齢構造又は適切な樹幅分布の区分</p> <p>1.3 森林立木の炭素ストレージの総量及びその変化</p>
<p>2. 森林生態系の健全性と活力の維持</p>	<p>2.1 過去5年間における空気汚染物質の廃棄の総量及び変化〔パーマネントプロット（恒久測定地）で査定〕</p> <p>2.2 過去5年間における UN/ECE 及び EU 枯葉分類（2,3,4）を用いた深刻な枯葉の変化</p> <p>2.3 有機物質又は無機物質によって引き起こされた重大な被害 a. 昆虫や病気によって引き起こされた重大な被害で、被害の深刻さを枯死、又は成長の喪失の関数として測定したもの b. 火災による森林やその他の林地の年間焼失面積 c. 嵐害によって影響を受けた地域の年間面積及びこれらの地域からの伐採量 d. 狩猟獣や他の動物、又は、放牧によって重大な被害を受けた再生地域の割合</p> <p>2.4 過去10年にわたる栄養バランス及び酸性度の変化（Ph 及び CEC）；ヨーロッパネットワーク又は、相当する各国ネットワークのプロット（測定地）に基づく CEC の飽和レベル</p>

<p>3. 森林の生産機能（木材及び非木材）の維持及び増進</p>	<p>3.1 過去10年間における木の生育及び除去の間のバランス</p> <p>3.2 管理計画又は管理指針に基づいて管理が行われた森林の割合</p> <p>3.3 非木材林産物の価値又は量、或いは、その両方の総額と変化（例：狩猟と獲物、コルク、ベリー類、茸、など）</p>
<p>4. 森林生態系における生物多様性の維持、保全、及び適切な増進</p>	<p>4.1 下記に関わる変化：</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 天然及び古い準天然の森林タイプ b. 峻厳に保護された森林保護地域 c. 特別な経営・管理体制によって保護された森林 <p>4.2 森林種の総数に対する絶滅が危惧される種の数及び割合の変化（適用すべき引用規格リスト – 例：国際自然保護連合（IUCN）、欧州評議会、EU ハビタット・ディレクティブ、など）</p> <p>4.3 保護管理下にある立木の割合及び森林の遺伝子資源の利用の変化（遺伝的保護森林、収種用立木など）；在来種及び外来種の区別</p> <p>4.4 2－3の樹種に関する混交立木の割合の変化</p> <p>4.5 総再生地域に対する天然再生林の年間面積の割合</p>
<p>5. 森林管理における保護機能の維持、及び適切な増進（特に水と土壌）</p>	<p>5.1 土壌の保護を主な目的として管理された森林地域の割合</p> <p>5.2 水質の保全を主な目的として管理された森林地域の割合</p>
<p>6. その他の社会経済的機能と状態の維持</p>	<p>6.1 国民総生産（GNP）における林業分野のシェア</p> <p>6.2 レクリエーションの提供：住民一人当たりが入林可能な森林面積の総森林面積に対する割合</p> <p>6.3 林業における雇用率の変化（林業、伐採、林産業に雇用される人の数）、特に農村地域</p>